

みなみ

第9号

財団法人大牟田医療協会
南大牟田病院・南大牟田クリニック
大牟田市臼井町23番地の1・11番地の6
(0944-57-2000・0944-57-3300)

当協会では、診療部門と介護部門それぞれの部署や事業所間の相互理解を深め、また、互いに研鑽し合う職場作りを目標に、「第3回 財団法人大牟田医療協会 医療・介護研究会」を開催いたしました。

今回の発表は放射線科、病棟では2病棟と4病棟、デイケア、デイサービス、グループホームの6部署が行いました。その研究内容の一部を紹介いたします。

○ 看護部 4病棟

研究内容：FISH哲学を取り入れた看護の実践
～生き生きと楽しい職場作りをめざして～

はじめに

「FISH哲学」とは、難しい考え方ではなく、自分の仕事に誇りを持ち仕事を楽しむことで、自分の人生までも豊かにすることができるというものであります。

このFISH哲学は、アメリカの西海岸シアトルの魚市場で生まれたもので、当時はパツとしなかった「パイク・プレイス魚市場」のオーナーと従業員は、「世界的に有名な魚市場になろう」と決心し、そこで「4つの哲学」を生み出しました。この哲学により市場はやりがいのある職場になり、今では活気に満ち溢れた場所として有名になっています。

ところで、誰もが良い環境で自分らしく生き生きと仕事をしたいと願っているはずで、良い医療を実践することと、働く職員が仕事をすることはイコールであるという考えのもと、4病棟ではFISH哲学を導入しました。

【4つのFISH哲学】

- ① 相手に向き合う … 今そこにあるある人・仕事に心を集中させよう。
- ② 仕事を楽しむ … 仕事に遊び心を持って楽しく働こう。
- ③ 相手を喜ばせる … 人の満足を得るには、まず人を喜ばせよう。
- ④ 態度を選ぶ … 辛い仕事も自分で決めてやりがいを持とう。

目的

FISH哲学を学び実行する事によって、スタッフの意義の変化ややりがいにつなげる。その結果、良い人間関係を築き、患者さんも楽しみや喜びのある入院生活を送る事ができる。

方法

1. FISH哲学実践のためのアイデアを集約し実践する。
 - ① 当日の受け持ち看護師の紹介のため病室に担当看護師のネームを貼る。
 - ② FISH哲学についての勉強会・グループワーク。
 - ③ FISH哲学を実践する上で、スタッフ全員で考えた「4病棟10の目標」を、毎朝声に出して言う。
 - ④ 明るい環境づくりのため、昼食後にスタッフがエプロンを着用する。
 - ⑤ 常に笑顔が心がるようにスマイルマークをつくり、各自身につける。
 - ⑥ 外来者や患者さんの家族等に顔と名前を覚えてもらい、身近に感じていただけるようにスタッフ紹介のポスターを掲示する。
2. アンケートを作成して、スタッフ全員に実践前および実践後にFISH哲学に関しての自己採点を実施する。

結果

実践後の自己採点では、いずれの項目でも良い結果が出ていました。

様々な取り組みの結果、職員一人ひとりに、仕事をしようという前向きな気持ちが生まれ、それが行動に現れるようになりました。また、患者さんに対しても、快適な環境づくりを提供しようと心がけるようになりました。

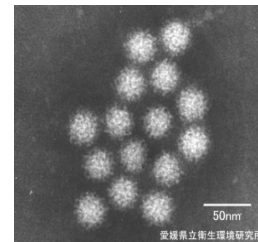
それ以外の発表として、2病棟では実践しているTQM活動(総合的品質経営)について、その活動が生かされているかどうかを現状把握するために行った患者満足度調査内容とその結果、そして改善すべき課題について発表を行いました。また、IT化の進歩により情報の機密性が話題となっていますが、このような状況を踏まえた上で、当院におけるセキュリティ対策の取り組みと現状を放射線科から報告がありました。

介護部門では、利用者の高齢化に伴い認知症の方も増えている中、デイケアでは学習療法を平成21年11月から導入し、半年後と1年後の利用者の前頭葉機能と認知機能の変化について研究した内容を発表しました。デイサービスでは、安全・安楽な入浴を提供することを目的に、入浴業務内容を再確認することにしました。結果として、入浴の意義・目的を明確化することで利用者にとっての入浴を再認識することができ、入浴ケアに必要な知識の習得の必要性も再認識することができました。グループホームでは、数年前までおおむね日常生活が自立し、共同生活に支障がない入居者さんが多く占めていましたが、年々医療支援の頻度が増えています。特に、入院になるケースも増え、退院後のグループホームにおける自立に向けた取り組みについて発表しました。

今後も研究発表会の内容については、引き続き紹介していこうと考えています。

ノロウイルスについて

ノロウイルスが流行していますのでご注意ください。



ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。従って、皆さまの周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょう。

- 患者さんの糞便や吐物には大量のウイルスが排出されているので、
 - (1) 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
 - (2) 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
 - (3) 胃腸炎患者に接する方は、患者の糞便や吐物を適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。
- 特に子どもやお年寄りなどの抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

(資料：厚生労働省のホームページより)

地域交流施設「サロン・すいせん」
催しのご案内

1月27日(木) 14:00~15:00
健康教室 薬剤師
「生活習慣病(高脂血症)」

2月24日(木) 15:00~16:00
健康教室 薬剤師
「生活習慣病(糖尿病)」

3月24日(木) 15:00~16:00
健康教室 管理栄養士
「高脂血症と食事」

編集後記

あけまして おめでとうございます
今年も宜しくお願い申し上げます。



日本漢字能力検定協会が公募で選ぶ、平成22年の世相を表す漢字一字は「暑」に決まりました。記録的な猛暑の理由の他に「チリ鉱山」の暑い地中からの生還、突入温度1万度という暑さに耐えて帰還した「はやぶさ」など勇気と希望をくれたことが理由に挙げられました。今年はどうのような漢字で表わされるのでしょうか？

広報担当：平山 和也
2011.01